

ひろげる(伸張・伸長) ~わくわく登校 納得の下校~

巣立ちゆく【卒業生20名】

いよいよ来週火曜日は、【令和7年度清里小学校卒業証書授与式】が本校体育館で行われます。

巣立ちゆく20名の皆さん、
卒業おめでとう！！

最高学年として、この1年間の活躍ぶりは、多岐にわたりました。

一人ひとりの個性がとても輝いた1年でしたね。

印象深かったのが、みなさんの企画力の凄さでした。

「服のプロジェクト」「清里夏祭りへの出店の出店」など、自分たちの力で計画、実行をしてくれましたね。大変感心しました。

中学校は、全員が同じ学校とはいきませんが、この出会った20名の絆を大切に今後も飛躍していきましょう。

期待しています！！

【第4回学校運営協議会】について

3月10日(火)には、「第4回学校運営協議会」が夕方行われ、大変ご多用の中、7名の委員様においでいただきました。

協議会では、学校側から後期後半の子どもたちの様子や本校の目指してきた3つの資質・能力【聴き合う力】【自他を大切にし、自己肯定感を高める力】【自己管理能力】が身に付いているのか、児童、担任、担任外からのアンケートからの分析結果を説明しました。

また、「学校教育評価アンケート」や様々な活動の今後の動向についての説明も行いました。

これを受け、委員様からは、以下のご意見をいただきました。



学校をリードしてくれた20名の6年生



7月に実施した第2回学校運営協議会の様子

- ・クラブ活動は、どのような活動が行われているのか。
 - ・学校教育目標の評価の仕方はどのようにしているのか。
 - ・あらおベーシックを基盤にした授業改善は、子供主体で行われており、とてもよい進め方をしている」と感じた。
 - ・先生たちが転勤しても継続していくことができる園児と小学生の交流を是非お願いしたい。
 - ・夏休みのサマースクールには、卒業生がたくさん来てくれ、是非、今後も続けてほしい。
 - ・地の利を生かした自然体験は、人を大切にすることにつながる」
 - ・先生方の時間外勤務について教えてほしい。
- など

今後は出されたご意見を基に児童・教職員・家庭・地域・学校が『つなぐ・つながる・つなげる』をキーワードに関係づくりを更に目指していきます。

委員の皆様には、ご多用の中、出席いただき大変お世話になりました。

【後期学校評価アンケート】について

先日、学習支援ソフト（ロイロノート）を使って【後期学校評価アンケート】を行いました。50名近くの保護者から回答をいただきました。大変ありがとうございました。（詳しくは、右の二次元コードから確認ください。）

この結果から子どもたちは、楽しく学校に来て、決まりを守りながら友達と仲良く過ごしていることが分かりました。

一方で、子どもの学習態度やいじめの未然防止等については、「どちらともいえない」「あまりそう思わない」といった意見がありました。

良かった面は、更に伸ばせるよう、また、課題点は次年度しっかりと意識しながら、子どもたちと共に解決していけるよう努力していきます。大変お世話になりました。

【がんばりアンケート】について

年5回（1年生は4回）行ってきましたアンケートです。主に今年度取り組んできた【聴き合う力】【自他を大切にし、自己肯定感を高める力】【自己管理能力】の3つの資質・能力について、『学習』『係、委員会、行事』『生活』の場面で各学年の掲げた目標が達成できたかどうかを確認するものです。以下に5回の結果を表示します。（各月は、「よくできた」「まあまあできた」を足した数値です）



清里小学校のがんばりアンケート評価の比較

	5月	→	10月	→	12月	→	2月
1 聴き合う力（学習面）	85	4	89	1	90	4	94
2 聴き合う力（係、当番、委員会）	88	7	95	-6	89	3	92
3 聴き合う力（生活面）	86	3	89	2	91	1	92
4 自他を大切にす力、自己肯定感（学習面）	94	-2	92	3	95	-5	90
5 自他を大切にす力、自己肯定感（係、当番、委員会）	98	±0	98	-2	96	-2	94
6 自他を大切にす力、自己肯定感（生活面）	91	5	96	-3	93	1	94
7 自己管理能力（学習面）	90	-2	88	5	93	-2	91
8 自己管理能力（係、当番、委員会）	89	3	92	-1	91	1	92
9 自己管理能力（生活面）	94	-3	91	±0	91	3	94

この結果から「聴き合う力（項目1～3）」は、着実に高まってきていると推察されます。

「自他を大切にす力、自己肯定感（項目4～6）」や「自己管理能力（項目7～9）」の数値が前回と比べると下がっていますが、3年生～6年生と職員の記述を読めば、「困っている友達に優しくし、相手の立場になって教えられるようになってきた」「時間を見て行動や前と比べて周りをよく見て行動できるようになった」「苦手教科の予習ができた」「分からないことを自分から尋ねたり、周りに意見を求めたりする姿があった」などの意見があり、個々人の確実な成長が感じられました。

しかしながら、「あまりできなかつた」「できなかつた」と回答した児童が各項目で全体（83名中）のうち6名ほどいたことは事実です。今後、この児童を中心に成功体験を味わわせたり、丁寧な価値付けをしたりしながら次年度への引継ぎを行っていきます。

学校評価でも、3つの資質・能力についてのご意見をいただいております。それぞれで伸びてきたことについての評価をいただいております。ご確認ください。

アンケートをする毎に子どもたちが、自分の行動や言動を厳しく振り返って評価する様子がとてもよく分かりました。

ご家庭でもこの1年間の成長を是非褒めていただき、次年度に向けての新たな意欲を持たせていただければと思います。大変お世話になりました。